

群馬県立中央中等教育学校学校評価一覧表②（平成29年度版）（様式2）

評価対象	評価項目	羅針盤 具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
			①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 豊かな人間性、想像力を育成する教育活動を行っていますか。	①自ら積極的にあいさつをしている生徒が90%以上である。	A	B	A	職員自らの声かけ等、積極的に行ってもっている。	骨太の人間形成を実現するためには、挨拶や清掃活動等の日常的なことを表裏なく出来るようにすることは大切である。しかし、清掃活動については家庭ごとの価値観の違いもあるので、評価を気にせず、学校内でやるべきことをしっかりと続けさせてほしい。加えて、清掃活動の価値を生徒、保護者に周知することも大切だと思う。	・生徒への指導として、あいさつなど基本的な生活習慣の徹底を更に進めていきたい。 ・今後は家庭や地域での環境美化について、生徒の意欲や行動を高めたい。 ・学校の規則作りに、必要に応じて生徒も参加させ、取り組んでいきたい。	
		②意欲的に清掃活動に取り組んでいると自己評価している生徒が90%以上である。	B	B	B	生徒の9割近くは意欲的に取り組んでいるとしたが、保護者の評価が良くない。			
		③自分の学校が好きだと感じている生徒が85%以上である。	A	A	A	まず良好といえる。			
2 国際的なコミュニケーション能力を育成する教育活動を行っていますか。	4 英語や外国文化に興味を持っている生徒が90%以上である。	④英語や外国文化に興味を持っている生徒が90%以上である。	A	A	A	各習得段階において、適切な題材を選び、スピーチやプレゼン、ディスカッション、洋書や英字新聞を読む活動等を通して、英語・外国文化・世界情勢について、興味関心が深まっている。	国際情勢に不透明さが増してきた昨今において、英語力を高め、コミュニケーション能力を向上させていく教育は大切であり、中央中等教育学校の特色としてさらに力を入れて指導してほしい。	本当の意味での国際コミュニケーション能力の育成に向けて、現実的な場面で即興的に表現出来る能力、グローバルスタンダードにかなう論理構成力、プレゼン能力、意思伝達力等の育成に、前期・後期通して一貫した目標を持ち、6年間を見据えて計画的に取り組んで行かなければならない。	
		⑤イングリッシュキャンプやスピーチコンテストなどの英語科行事や、海外修学旅行に満足している生徒が85%以上である。	A	A	A	前期・後期を通じ授業の中で表現能力を向上させる活動をより多く行い、自らの考えを伝え合う力を養うことで、各行事に対する意欲をさらに高めることになっている。			
		⑥全ての生徒が、学校行事や授業等で我が国や世界の国々の文化・伝統に触れる経験をしている。	A	A	A	本年度は日本伝統文化に関する全員参加の学校行事として、9月に箏曲体験を実施することができた。			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 基礎・基本の確実な理解を図る指導を徹底していますか。	⑦授業内容を理解できていると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	校内研修でアクティブラーニングを取り上げ、より充実した授業実践を全教科で行うと同時に、年2回実施の授業アンケートを分析し、より生徒一人一人の理解度が高まる授業を心がけた。	SGHの発表内容を見ても、自ら課題を発見し、その解決に向けて調査し思考する力が、学年をあげるにつれて身に付いていることがわかる。これは日常に行われているアクティブラーニング授業の賜であると思うので、今後も全教科にわたって取り組んでいってほしい。	・アクティブラーニング授業をテーマとした校内研修と公開授業を継続し、教師側が常に授業改善の必要性を感じるとともに、生徒側の客観的な声をしっかりと把握することで、その工夫改善の質を高めていけるようにしていきたい。	
		⑧少人数指導に満足している生徒が85%以上である。	A	A	A	少人数指導の有用さは、アクティブラーニング授業に取り組む生徒の生き生きとした姿が証明している。生徒の充実感を高め、力の伸長に努めたい。			
	5 生徒の学習意欲を喚起する指導が充実していますか。	⑩家庭学習の習慣が身に付いている生徒が80%以上である。	⑨学習動機が明確な生徒が85%以上である。	C	C	C	課題改善に向けて、各教科・学年内で検討を重ね、課題を与える理由を生徒に理解させる方策のまとめができた。	課題が多いという意見は本校に限ったことではないが、2、3年生から自分の必要性に基づいて学習に臨む力を育成する指導を行い、課題の量を減らすべきではないか。	・2020年度から実施される共通テストの試行調査問題には、学力の三要素のうち、十分な「知識・技能」を前提として「思考力・判断力・表現力」を発揮して解答する設問が多く見られ、また設問の情報量も多い。このことをふまえて、生徒の学力伸長につながる適切な課題を検討し
			⑩すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。	A	A	A	年度当初に授業改善に係る研究テーマを設定し、研究テーマに沿った全体研修を年2回以上実施した。		
	6 教師は主体的に授業改善に努めていますか。	⑫すべての教師が研究授業を年1回以上、授業参観を年2回以上実施している。	⑪すべての教師が、「言語活動の充実」「学び合い学習」「ICTの活用」等のテーマを設定し、授業改善に取り組んでいる。	A	A	A	授業改善の一環として、全職員が、研究授業・授業参観を管理職による授業観察等と連携して実施した。	SGH活動は確実に成果をあげ、成熟してきていると感じられるので、活動をしっかりと評価して、そこから見えてくる課題解決に向けての研修を積極的に実施してほしい。	・学校全体の研修計画だけでなく、個別のテーマ設定や目標を個人計画としてたてたり、個人の研修の記録をとったりするように工夫するとともに、SGHで得られた課題解決型学習指導を各教科の授業にいかにかかしているかについてさらに研究を進めたい。
			⑫すべての教師が研究授業を年1回以上、授業参観を年2回以上実施している。	A	A	A	授業改善の一環として、全職員が、研究授業・授業参観を管理職による授業観察等と連携して実施した。		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒が良好な人間関係を築けるよう組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑬教師との信頼関係を築けていると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	おおむね良好といえる。	少人数という利点を生かし、生徒全員が卒業時に「この学校でよかった」と思える雰囲気作り、精神的なケアを今後も丁寧に行っていくてほしい。	・学校生活が安定している。今後も引き続き、生徒理解に努めた指導をお願いしていきたい。	
		⑭クラスの人間関係が良好だと感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	クラス内での大きなトラブルもなく、良好といえる。			
	8 生徒は健全で健康的な学生生活を送っていますか。	⑮自分の健康について意識している生徒が80%以上である。	B	A	A	全体的に高評価である。2年連続のインフルエンザ禍によって、より注意喚起されたか。			他と比べて熱中症やインフルエンザの罹患者が少ないのは、個々の健康管理に対して自覚を持っている生徒が多いからであろう。自主的な委員会活動等の更なる活性化を通して、こうした意識を高めていってほしい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 各学年の特性に応じた計画的な進路指導を行っていますか。	⑮<前期課程>自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が70%以上である。	C	B	B	進路講演会を実施し、保護者とともに自分の進路を考える機会を提供した。	前期(中学生)の保護者のキャリア教育への要望を取り入れ、インターシップ活動やPTA、卒業生と連携をはかったキャリア教育の充実に向けて、現在計画している諸行事をしっかりと実施してほしい。	・キャリア教育については、SGH諸活動にビルト・インする形で実施し、成果をあげてきた。今後は、SGH活動切れ後の指導について、生徒の発達段階に応じた学年ごとの取り組みを検討する必要がある。同時に、現在存在している職業の多くが近いうちに消滅するであろう、という未来予想を生徒に受容させる指導が必要な社会情勢である。生徒・保護者に「将来就きたい職業」を模索させる指導の先行きが混沌とするなか、進路指導の前提となる「在り方・生き方」に立ち返った指導を充実させる必要がある。	
		⑮<後期課程>自分の特性と将来の職業とについて関連付けている生徒が80%以上である。	A	A	A	進路講演会を実施し、保護者とともに自分の進路を考える機会を提供した。			
		⑯<後期課程のみ>進学意思が明確な生徒が90%以上である。	A	A	A	文理選択、科目選択、志望校選択等の場面における個別指導を充実させた。			
10 生徒が将来の進路を選択するのに役立つ適切な情報や場を提供していますか。	⑳学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。	⑰子どもの進路希望を理解している保護者が85%以上である。	B	A	A	三者面談にあたって、適性検査等のデータを活用した。	高大連携に伴う大学入試改革の情報や新しい学習指導要領等への対応等、保護者が関心を持っている情報を、タイムリーに発信して欲しい。	・進路関係の諸行事については、スクラップ&ビルドの考え方を基本として、その精選を継続する。また、進路情報については、各学年の進路環境に応じた最新の情報を、引き続き提供する。	
		⑱学校からの進路情報提供に満足している生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A	PTA進路学習会を実施し、本校生徒にとって必要な進路情報を発信した。			
		⑲進路講演会や進路関連行事を各学年、年2回以上開催する。	A	A	A	生徒の発達段階にあわせ、各学年のニーズに応じた行事を行った。			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 積極的な情報発信に努めていますか。	㉑Webページを月3回以上更新する。	A	A	A	部活動のページを充実させ、学校行事、明石プロジェクト、入試情報等の更新を心がけた結果、前年度よりも情報提供は格段に充実した。	Webページは情報の発信手段として今後益々需要が高まっていくと思われる。専門の職員が配置されているわけではないので困難な部分も多々あると思うが、この学校と直接関係がない人にもわかりやすい情報発信を心がけてほしい。	・各分掌、各部活動などをお願いして、Webページのタイムリーな更新と、スマートフォン等の端末でも見やすいHP画面を提供していく。 ・オープンスクールの実施日、特に曜日を変更する等の改善を加え、保護者、志願者、県民、地域の住民等が来校しやすい環境を整えたい。	
		㉒学校説明会や公開授業、授業参観をそれぞれ年1回以上実施する。	A	A	A	関係部署との連携のもと、円滑な行事の運営に努めたが、天候に関わる駐車場の混雑の問題等、すぐには改善できない問題点がある。			
		12 保護者や地域等との連携・協力を努めていますか。	㉓学校と家庭との連絡が緊密に行われていると感じている保護者が80%以上である。	A	A	A			文書やメール等を利用して適切な情報伝達に努めた。
13 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	14 施設・設備の安全管理を徹底していますか。	㉔学校は、生徒・保護者による地域貢献活動を年1回以上行っている。	A	B	A	例年2回の実施を継続してきたが、2回目は健康増進活動にあて、地域貢献活動は昨年度に続き春に1回だけ行った。	「危険箇所マップ」等の作成のような、生徒による自主的な活動をより取り入れ、安全意識の向上をはかるとともに、実際の数値も「0」に近づけてほしい。	計画通り行えたが、来年度は交通事故撲滅のため、交通リポートや危険箇所マップ等を更新したり、交通安全教室の内容を充実していきたい。	
		㉕交通安全教室を年1回、防災訓練を年2回実施する。	A	A	A	指定回数を行えた。			生徒や保護者からの要望が多い照明整備などを重点項目として、より安全な環境作りに努めたい。
VI 生徒の安全確保を図っていますか。	13 生徒の安全に対する意識喚起に努めていますか。	㉖学校の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A	点検はしっかりと行われた。問題点は指摘された直後に概ね解決されたが、多額を要するものについては未解決も	点検活動を継続するとともに、予算面の要請も続けてほしい。	生徒や保護者からの要望が多い照明整備などを重点項目として、より安全な環境作りに努めたい。	
		㉗施設の施設・設備が整備され、安全であると感じている生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A	点検はしっかりと行われた。問題点は指摘された直後に概ね解決されたが、多額を要するものについては未解決も			